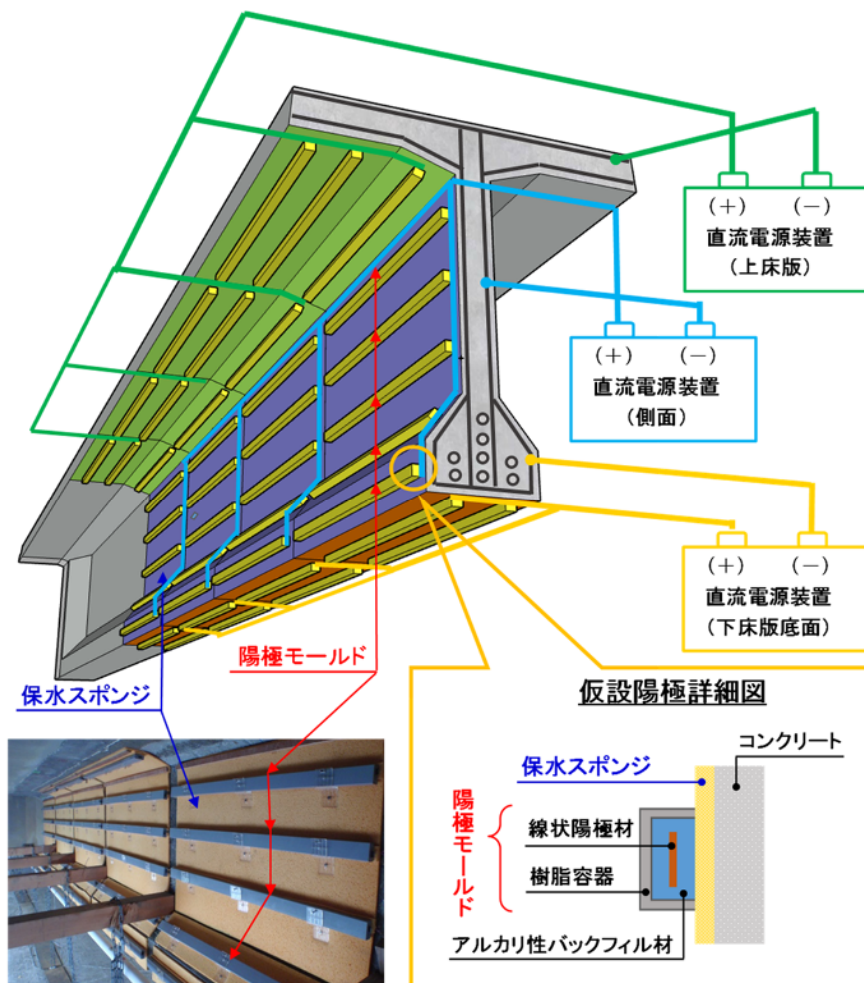


概要

summary

LAC(Liner Anode Cartridge)脱塩工法は、コンクリート構造物の表面に仮設陽極を設置し、内部の鋼材との間に直流電流(標準はコンクリート表面積に対して $1\text{A}/\text{m}^2$ で通電積算日数8週間)を流し、コンクリート中の塩化物イオンを電気化学的に抽出し、塩害による鋼材腐食の進行を抑制する工法です。

仮設陽極には、チタン系の線状陽極材、アルカリ性バックフィル材、樹脂容器から構成される陽極モールドと保水スポンジを使用します。



特長

- 陽極配置の合理化
線状方式の陽極モールドを使用するため、コンクリート内部の鋼材量や配置状況に応じた最適な陽極配置が可能となります。
- 確実な通電管理
各陽極モールド単位の通電量の計測が可能であるため、詳細な通電管理が可能です。通電不足や過通電を防止できます。
- 環境にやさしい
コンクリートへの取付物は保水スポンジと陽極モールドのみであるため、周辺環境に影響が少なく産業廃棄物を最低限に抑えることができます。
- 現場施工の省力化
工場製作された陽極モールドを使用するため、現場施工の省力化が可能で、取付・取外時の工程短縮が可能です。

● 施工手順

procedure

事前調査工



- ・鉄筋位置の調査
- ・露出金属探査、撤去
- ・保水スポンジ、陽極設置位置のマーキング

排流端子設置工

仮設陽極設置工



取付金具、保水スポンジの設置



陽極モールドの設置

配線工

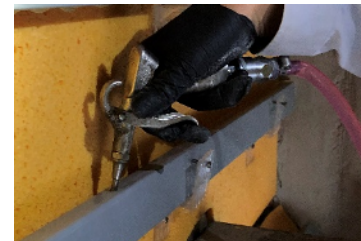


陽極間および陽極－電源装置、鋼材－電源装置間の配線

通電工



水道水散布



アルカリ溶液注入

仮設陽極撤去工

表面処理工

完成



通電量管理

